

視察してきました!



議員視察研修 (広島県世羅町)

10月25日、広島県世羅町を視察してきました。

世羅町は町内13の自治センターを活動拠点とする住民自治組織による協働のまちづくりを実践していて、それぞれの自治組織が地域づくりビジョンを掲げ活動しています。今回は空き校舎を自治センター、宿泊施設として活用している「世羅の宿ひがし」を視察し、住民自治や空き校舎の活用について研修してきました。

世羅町は特色ある地域自治を実践しています。振興会、コミュニティなど集落単位の住民自治組織127団体を

13エリアに集約し「自治センター」を設けています。

今回はそんな組織の1つで運営されている「世羅の宿ひがし」を訪ねました。この施設は平成23年3月に閉校した旧東小学校を約1億円を投じて宿泊施設と自治センターに改装したものです。毎月イベントを行うなど、週末ともなれば遠方のもとより、ご近所からもたくさんの宿泊客で賑わうそうです。また、厨房ではランチや仕出し営業も行っており、閑散期対策もバッチリです。

世羅町は地域住民が主体となる組織を成功させ、更には雇用機会の増大につなげるという大きな成果を達成されています。

真に住民による「郷土愛」100%の運営からは熱を感じるだけでなく、感動さえも覚えました。
(副議長 勝又一徳)



東自治センターと「世羅の宿ひがし」



空港対策特別委員会 (福岡空港)

11月16日、福岡空港を視察してきました。

成田空港の更なる機能強化策が示された中、発着回数が限界となり滑走路の増設を進めている福岡空港を視察し、空港周辺の移転跡地の利用や環境対策、地域振興策について参考としたいと考えました。

独立行政法人「空港周辺整備機構」が用地取得した土地を福岡市に貸付け、市は市有地と併せて整備し、市民向け都市型農園やパークゴルフ場を整備、運営しています。しかし、取得した土地で未利用の箇所がまだあることは今後の課題であり、成田空港にもあてはまる問題と感じました。
(委員長 山口 清)



立花寺緑地リフレッシュ農園

議会広報特別委員会 (新潟県聖籠町)

11月21日、新潟県聖籠町議会を視察してきました。

「聖籠町議会だより」は町村議会広報全国コンクールで入選を重ねており、「読みやすく、わかりやすい」議会だよりとなるよう、編集方法等について研修してきました。研修では、編集作業の流れ等わかりやすいご説明をいただきました。聖籠町議会だよりは余白を活かすすっきりとしたレイアウトで、掲載されている記事もオリジナリティあふれる住民参加企画があるなど学ぶ点が多くありました。取材協力者の確保等の難しさなど共感する点もあり、充実した研修となりました。

(副委員長 佐久間由紀子)



空港対策特別委員会

委員会協議会

(12/12)

企画空港政策課長より2件の報告がありました。航空機騒音測定結果については、町内6カ所の騒音測定局における7月から9月までの数値は前年度とほぼ同様の状況で推移していること。また、芝山鉄道利用者駐車場の利用状況については、8月から11月までの利用台数は11,833台と前年同時期と比較し353台の増、料金収入は前年同時期と比較し111,100円の増で、要因として定期の更新が考えられるとのことでした。定期の種類は1カ月と3カ月で、料金は多古町民の芝山鉄道利用者については1カ月2,000円とのことでした。



議会広報特別委員会

山梨県昭和町議会来訪 (10/24)

山梨県昭和町議会広報編集特別委員会の方々で議会広報の編集方法等について視察にみえました。研修では定例会後の編集作業の流れや紙面づくりの分担、編集作業において意識している点について勝又委員長から説明をしました。意見交換では、原稿作成に会議録作成業者からのデータを用い編集期間の短縮を図っていること、議会基本条例の制定により「住民に開かれた議会」を目指し広報広聴活動を行っていること、議会モニターを設置し意見交換等を行っていること等、多くのご教示をいただきました。



議員全員協議会

各地区説明会後のNAA説明

(12/12)

成田国際空港(株)(以下NAA)から現状の滑走路における処理能力向上の取り組みについて、町から成田空港機能強化に関する各地区説明会の状況についての説明を聞くため、議員全員協議会を開催しました。

はじめに椎名明彦 NAA取締役からあいさつがあった後、現状の滑走路における処理能力向上の取り組みについて竹村昌明 NAA 空港計画部担当部長から説明がありました。今後の訪日外国人の増加や成田空港の国際競争力強化に対応するため年間発着枠30万回内でのピーク時間帯の時間値を68回から72回に向上させるために施設整備を実施するとして、高速離脱誘導路の整備、駐機場の増設、誘導路の整備を予定しており、更なる機能強化とは別であり、直近の課題との説明でした。

町企画空港政策課長からは10月に旧学区ごとに開催した説明会や10月から11月にかけて地区集會施設で開催した説明会での意見・要望について説明がありました。

その後、関口順一 NAA 地域共生部次長からは対話型説明会の開催予定について説明がありました。

議員からは、「説明会で住民から出た意見に対する答弁を含めた資料を提示してほしい」「NAAは持ち帰った全ての質問になるべく早く回答してほしい」「南側エプロン整備の計画があったならば、航空法に基づく申請前でも区では説明があつていいのでは」「説明会の会議録は極力住民のみならず、当局が使った言葉をそのとおりに載せるように」といった意見がありました。今後も地域住民との共生・共栄が実現するよう国、県、NAAの動向を注視していきます。

